

「二枚目の名刺」なるNPO法人がある。業務用の名刺とは別に、自らの私的な活動などを表現したもう一枚の名刺を持つて、2枚の名刺をやりとりすることを推進する。これによって、「自分を变える、社会を变える、笑顔になる」ことを目指す。

代表の廣優樹さんと出

「二枚目」の歩み

会ったのは、もう10年以上前になるだろうか。たまたま当時、私が3枚の名刺を使っており、これを廣さんに渡したのが二枚目の名刺運動を起すきっかけになったとか。こうした機縁もあって私は「二枚目の名刺サポーター」を自称している。業務でのやりとりをするに当たって、自らの信

農的社會デザイン研究所代表・蔦谷栄一氏

ネットワークから パートナーシップ

協同活動の芽 大切に

条や趣味などを二枚目の名刺に託して伝えることにより、人格的な関係性をも踏まえて業務を進めていくことを本義とする。まさに時代の変化を感じさせられるが、ネットワークで個々がつながり、時には機会を捉えての集まりで交流する。こうした場での出会いをきっかけにして、おのおのが交流と関係を深め、さらに相互に支援していくことがこれからの課題となる。言い換えればネットワークでのつながりを経て、相互にパートナーシップを組んでいくステップに入ってきていると

言える。今、二枚目の名刺が象徴するように、小さな協同活動があちこちで芽吹き始めている。自己改革で協同組合を守っていくだけでなく、こうした芽を大事にし大きく育ていくことも協同組合陣営の大きな役割ではないか。

またた人たち、30人ほどであるが、お互いにはほとんど面識がなく、初対面が多いという。まさ

(次回は11日付)